

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	スーパーデザイナー学科	夜・通信	576	320	
服飾専門課程	ファッションクリエイター学科（アパレルデザイナー専攻、パタンナー専攻、オートクチュール専攻、ニット専攻）	夜・通信	640	240	
服飾専門課程	ファッションクリエイター学科（クリエイティブデザイナー専攻）	夜・通信	384	240	
服飾専門課程	ブランドマネジメント学科（ショップ開発専攻）	夜・通信	320	240	
服飾専門課程	ブランドマネジメント学科（プロデューサー専攻）	夜・通信	256	240	
服飾専門課程	スタイリスト学科	夜・通信	224	160	
服飾専門課程	スタイリストマスター学科	夜・通信	288	160	
服飾専門課程	ファッションビジネス学科（バイヤー専攻、ショップスタッフ専攻）	夜・通信	256	160	
服飾専門課程	ファッションビジネス学科（プレスインフルエンサー専攻）	夜・通信	192	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>ホームページ掲載のシラバスページに「実務経験のある教員等による授業科目」一覧を記載。</p> <p>https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/jitsumu.pdf</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ「平成30年度自己評価報告書」に掲載。
https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/yakuin_2019.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	平成15年森産業(株)代表取締役(現在)、平成17年当学園理事就任(現在)	4年	コンプライアンスへの指導・助言担当
非常勤	平成15年帝人殖産(株)取締役、平成21年当学園理事就任(現在)	4年	教学全般への指導・助言担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全学科・学年・コース別の授業計画(シラバス)を整備し、ホームページで公表している。シラバスの作成、改定に当り、</p>	
<p>① シラバス項目は全学科共通の項目に統一した。ただ、授業科目の特性に応じて配慮が必要と判断される場合は、適切に処理し記載している。</p>	
<p>② 授業の到達目標(学修成果)については、授業科目の特性を検討し、学生が該当する授業科目を修得したことで期待される「知識として知ったこと」「理解したこと」、その結果、「なにができて、なにができないか」を明確にするとともに、具体的に記載している。</p>	
<p>③ 成績評価の方法や基準については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の進捗状況との関連を重視し、筆記テストの実施時期やレポート・課題、成果物の提出時期についても配慮し、重なることの負担を軽減した。 ・成績の評価方法は、テスト、レポート、提出成果物等、複数の評価方法を採用する場合は、その配分を明記するように努めた。 ・授業科目の評価は素点で行い、それを A、B、C、D、E の 5 段階で評定。授業の到達目標に対応した成績評価基準の設定を進めた。 	
授業計画書の公表方法	ホームページに掲載。 https://www.osaka-bunka.com/education/syllabus.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。</p> <p>成績評価は、平素の学習態度、出席状況、試験、提出課題、成果物などをもとに総合的に評価。各科目の成績は前・後期を勘案し、学年末に総合評価する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価でGPA等の指標は設定していない。その理由は大学等のように単位制ではなく、時間制(授業時間数は年間800時間以上)であるため。よって公表はない。

ただ、学生が自分自身の成績を判断する材料として学年別・学科別・コース別に学生個人の総合成績の平均点、および席次を記載し、学生には公表している。

一方、授業科目の担当教員にとっても、GPA等の客観的な指標があれば、学生の授業理解の度合いを判断し、授業内容の見直しに活用できるメリットがある。

そこで、成績分布状況の把握・分析を狙いに、学年別・学科別・コース別に総合成績分布表を作成。学生対象に実施している「学生授業アンケート」と併用して、授業の改善や理解度の判定の一助としたい。

成績評価は以下のA・B・C・D・Eの5段階で評定。レターグレード(評価)と評点区間、および評価基準の対応は次のとおりである。

評価(100点満点の目安)…… 評 価 基 準

- ▶ A(100点～90点) … 基本的な目標を十分に達成し、優秀な成果を収めている。
- ▶ B(89点～75点) … 基本的な目標を十分に達成している。
- ▶ C(74点～65点) … 基本的な目標を達成している。
- ▶ D(64点～55点) … 基本的な目標を最低限達成している。
- ▶ E(54点以下) … 基本的な目標を達成していない。

(添付資料)「2018年度1年次 学科別の成績分布表」

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ「平成30年度自己評価報告書」に掲載。
https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/self_evaluation_30.pdf

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って科目の授業時数を修得することにより卒業が認定され、専門士あるいは高度専門士の称号が与えられる。</p> <p>なお、各学科には以下の卒業作品制作が必要である。</p> <p>○スーパーデザイナー学科(4年制) ⇒卒業年次において個人ブランド5スタイリング以上の制作。卒業作品発表会で発表。</p> <p>○ファッションクリエイター学科(3年制) ⇒グループによる8スタイリング以上の作品制作。卒業作品発表会で発表。</p> <p>○ブランドマネジメント学科(3年制) ショップ開発コース ⇒3カ月間の学外実習店舗の企画提案および運営、決算</p> <p>○ブランドマネジメント学科(Ⅱ)プロデューサーコース ⇒市場起点のオリジナル商品の企画制作、企画案、商品の展示発表。</p> <p>○ファッションビジネス学科(2年制) ⇒グループ単位による卒業作品発表会での2日間限定のオリジナルショップ開発とその運営</p> <p>○スタイリスト学科(2年制) ⇒卒業作品発表会に向けスタイリングの企画立案、ショー形式による発表。</p> <p>○スタイリストマスター学科(Ⅱ) ⇒東京のスタイリスト事務所等で1カ月のインターンシップ参加。関西コレクションで個人によるスタイリング企画、ショー形式による発表。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ「平成30年度自己評価報告書」に掲載。 https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/self_evaluation_30.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて概要を公開 https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	スーパーデザイナー学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4608 単位時間/単位	432 単位時間 /単位	4176 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	夜		単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		71人	2人	7人	3人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ●スーパーデザイナー学科 世界で通用し、独立志向の強いデザイナー養成が目的。クリエイティブなデザイン力と自らのブランド構築のため、2年次に外部でグループブランドの制作、展示販売、3年次では商品企画演習等の講義と実習を組み合わせた実践授業に重点を置いている。4週間の伊ポリモード校での短期海外留学も実施。
成績評価の基準・方法
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。C、D、Eは不認定となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。

学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援策の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	3人 (25%)	8人 (66.7%)	1人 (8.3%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が67%で、希望者内定率は100%となっています。</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業様と行っています。もちろん授業において就職への情報提供、書類作成、面接指導なども適時行っています。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>民間資格では日本ファッション振興協会主催のパターンメイキング1級に9名合格、商工会議所主催の販売士3級に17名など、他に色彩検定、スタイリングMAP検定などがございます。国家資格では商品服飾展示検定(厚労省)3級に20名合格という実績となっています。</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	10人	14.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションではない学校への進路変更が41%、学業不振が21%と学業に係るものが多いですが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっています。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担任制を敷いておりますので密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを取るようになっています。学費については学校独自の奨学金制度はじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施しています。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション・クリエイター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3424 単位時間/単位	336 単位時間 /単位	3088 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
300人		269人	9人	10人	4人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>●ファッションクリエイター学科</p> <p>アパレル企業で企画職・技術職として活躍できる人材育成。2年次から将来の職種に対応して、クリエイティブデザイナー、アパレルデザイナー、パタンナー、オートクチュール、ニットのいずれかのコースを選択する。3年間を通して共通科目の「デザイン」「パターン」「縫製」（総授業時間の67%を占める）を修得。服づくりの基本から高度な技術に裏打ちされた応用力を身につけ、コース選択によって、希望職種に必要な専門性を付加する。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。Eは不認定となる。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援策の実施。 	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
70人 (100%)	1人 (1.4%)	58人 (82.9%)	11人 (15.7%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が86%で、希望者内定率は97%となっています。</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業様と行っています。もちろん授業において就職への情報</p>			

提供、書類作成、面接指導なども適時行っています。
(主な学修成果(資格・検定等)) 民間資格では日本ファッション振興協会主催のパターンメイキング1級に9名合格、商工会議所主催の販売士3級に17名など、他に色彩検定、スタイリングMAP検定などがございます。国家資格では商品服飾展示検定(厚労省)3級に20名合格という実績となっています。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
232人	27人	11.6
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションではない学校への進路変更が41%、学業不振が21%と学業に係るものが多いですが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっています。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担任制を敷いておりますので密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしています。学費については学校独自の奨学金制度はじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施しています。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ブランドマネジメント学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3392 単位時間/単位	1312 単位時間 /単位	2080 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		97人	4人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <p>●ブランドマネジメント学科</p> <p>・ショップ開発コースは、企業で中核となる人材、または将来、ショップオーナーとして起業を目指す人材を育成。2年次からは企業で長期インターンシップを通して、現場対応型の実践力を身につけ、3年次には企業の協力を得て、長期運営店舗を企画立案、商品調達に取り組み、市街地において3カ月間のショップ運営に携わる。</p> <p>・プロデューサーコースは、市場起点の発想で商品開発、ブランド構築できるプロデューサー育成のコース。ショップ開発コースとの違いを出すため、アパレル商品演習(パターン・縫製)、アパレル MD 企画演習(オリジナル商品開発)等の授業科目を導入。販売職にとどまらず、総合職、企画職として就職できるカリキュラムを充実。</p>						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。D、Eは不認定となる。</p>						
卒業・進級の認定基準						
<p>（概要）</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>						
学修支援等						
<p>（概要）</p> <p>・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。</p> <p>・資格、検定取得のための特別講義の実施。</p> <p>・独立起業を目的とした支援策の実施。</p>						

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	11人 (84.6%)	2人 (15.4%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職</p>			

<p>をしており、就職希望者率が 92%で、希望者内定率は 92%となっています。</p>
<p>(就職指導内容) アパレル業界の業界説明を年 2 回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で 1 週間から 1 カ月を 40 社程度の企業様と行っています。もちろん授業において就職への情報提供、書類作成、面接指導なども適時行っています。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等)) 民間資格では日本ファッション振興協会主催のパターンメイキング 1 級に 9 名合格、商工会議所主催の販売士 3 級に 17 名など、他に色彩検定、スタイリング MAP 検定などがございいます。国家資格では商品服飾展示検定(厚労省)3 級に 20 名合格という実績となっています。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78 人	9 人	11.5%
<p>(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションではない学校への進路変更が 41%、学業不振が 21%と学業に係るものが多いですが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっています。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担任制を敷いておりますので密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを取るようになっています。学費については学校独自の奨学金制度はじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施しています。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2112 単位時間/単位	1024 単位時間 /単位	1088 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		127人	1人	7人	7人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>●ファッションビジネス学科</p> <p>FA、プレス、バイヤー、SNS を駆使したインフルエンサー等のアパレル小売業界で活躍できる多様な人材を育成。販売員に必須の商品知識、販売実務、素材知識、コーディネート論に加え、マーケティングや MD、VMD 理論を学ぶため、幅広い授業科目の編成。1 年次で全員が店頭で販売インターンシップに参加。2 年次からはショップスタッフ、バイヤー、インフルエンサーの中から選択コースに対応した科目を選ぶ。選択科目は 3 コマ(全体の 20%程度)。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、E の 5 段階で評定。E は不認定となる。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援策の実施。 	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
45人 (100%)	1人 (2.2%)	40人 (88.9%)	4人 (8.9%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が 89%で、希望者内定率は 100%となっています。</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>アパレル業界の業界説明を年 2 回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で 1 週間から 1 カ月を 40 社程度の企業様と行っています。もちろん授業において就職への情報</p>			

提供、書類作成、面接指導なども適時行っています。
(主な学修成果(資格・検定等)) 民間資格では日本ファッション振興協会主催のパターンメイキング1級に9名合格、商工会議所主催の販売士3級に17名など、他に色彩検定、スタイリングMAP検定などがございます。国家資格では商品服飾展示検定(厚労省)3級に20名合格という実績となっています。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105人	22人	20.9%
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションではない学校への進路変更が41%、学業不振が21%と学業に係るものが多いですが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっています。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担任制を敷いておりますので密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしています。学費については学校独自の奨学金制度はじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施しています。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	スタイリスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2144 単位時間/単位	864 単位時間 /単位	1280 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		114人	1人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ●スタイリスト学科 アシスタントからキャリアアップし、スタイリストとなり幅広く活躍できる人材を育成。スタイリストに必須のスタイルプランニング、ヘアメイクアップ等の授業科目を柱に、スタイリング構成するための服づくり（パターン・縫製）、素材、カラー知識、写真撮影技術等を学び、1年次後半からフィッター、アシスタントとしてインターンシップに参加。実践感覚を養う。プロのスタイリストを特別講師として招聘し、コーディネート能力向上を図る。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。Eは不認定となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。	
学修支援等	
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援策の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	2人 (5.4%)	33人 (89.2%)	2人 (5.4%)
（主な就職、業界等） 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が89%で、希望者内定率は100%となっています。			
（就職指導内容） アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週			

間から1カ月を40社程度の企業様と行っています。もちろん授業において就職への情報提供、書類作成、面接指導なども適時行っています。

(主な学修成果(資格・検定等))

民間資格では日本ファッション振興協会主催のパターンメイキング1級に9名合格、商工会議所主催の販売士3級に17名など、他に色彩検定、スタイリングMAP検定などがございいます。国家資格では商品服飾展示検定(厚労省)3級に20名合格という実績となっています。

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120人	15人	12.5%
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションではない学校への進路変更が41%、学業不振が21%と学業に係るものが多いですが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっています。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担任制を敷いておりますので密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしています。学費については学校独自の奨学金制度はじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施しています。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	スタイリストマスター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2208 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		820 単位時間 /単位	1388 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		4人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要）						
●スタイリストマスター学科						
卒業と同時にスタイリストとして活躍できる人材育成を目指す。「スタイリング」「スタイリングフォト」授業科目では、プロスタイリストが直接指導に当たる。「スタイリング」授業では、与えられたテーマからスタイリング展開に至るまでの反復演習を通して、即興力や応用力を競い、提案能力を磨く。一方、就職に向け希望就職先へ1カ月間のインターンシップを義務づけている。卒業ショーとして関西コレクションのスタイリングステージでMy Stylingを披露する。						
成績評価の基準・方法						
（概要）						
所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。Eは不認定となる。						
卒業・進級の認定基準						
（概要）						
各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。						
学修支援等						
（概要）						
<ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援策の実施。 						

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75%)	1人 (25%)
（主な就職、業界等）			
基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が75%で、希望者内定率は100%となっています。			
（就職指導内容）			
アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週			

間から1カ月を40社程度の企業様と行っています。もちろん授業において就職への情報提供、書類作成、面接指導なども適時行っています。

(主な学修成果(資格・検定等))

民間資格では日本ファッション振興協会主催のパターンメイキング1級に9名合格、商工会議所主催の販売士3級に17名など、他に色彩検定、スタイリングMAP検定などがございいます。国家資格では商品服飾展示検定(厚労省)3級に20名合格という実績となっています。

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	1人	20%
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションではない学校への進路変更が41%、学業不振が21%と学業に係るものが多いですが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっています。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担任制を敷いておりますので密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなど取るようにしています。学費については学校独自の奨学金制度はじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施しています。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備 費	(…以下、必要 に応じ追加)	合計
スーパーデザイナー学科	300,000円	670,000円	240,000円	165,000円	1,375,000円
ファッション・クリエイター学科	300,000円	560,000円	240,000円	165,000円	1,265,000円
ブランドマネジメント学科	300,000円	670,000円	240,000円	165,000円	1,375,000円
ファッションビジネス学科	300,000円	560,000円	240,000円	165,000円	1,285,000円
スタイリスト学科	300,000円	560,000円	240,000円	165,000円	1,285,000円
スタイリストマスター学科	0円	560,000円	240,000円	70,000円	870,000円
修学支援（任意記載事項）					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページアドレス https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html ・刊行物等の名称 自己評価報告書(文部科学省ガイドライン準拠版)		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校自己評価に取り組むことで、教職員が教育活動、学校運営の成果や課題を共有し、組織の活性化や学校運営の継続的改善を図る。学校関係者評価には、業界団体、企業、教育関係者、卒業生、保護者等を委員に選任し、自己点検・自己評価を通して、 ・点検・評価の客観性、透明性を高め、情報公開する。 ・学校運営の現状や課題について、学校関係者と共通理解を深め、学校運営の改善に向けて連携効果を引き出す。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
協同組合関西ファッション連合 部長 糸井弘一	2年	業界団体
株式会社 玉屋 専務 植田茂和	2年	企業関係
大阪市立泉尾工業高校 教頭 寺井勝彦	2年	教育関係
文化すみれ会 会長 岩光荣太郎	2年	卒業生
高崎尚美	2年	保護者

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアドレス：https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html ・学校関係者評価委員会 議事録(上記アドレスに公開)
第三者による学校評価 (任意記載事項)
第三者による学校評価は実施していない。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <ul style="list-style-type: none"> ▶ホームページアドレス https://www.osaka-bunka.com ▶学院案内パンフレット「SCHOOL GUIDE 2020-大阪文化服装学院」
